



平成21年4月13日発行
第68号

発行 後援会
印南 宏
発行責任者 印南 宏

季節は春本番



満開の桜から葉桜へ、季節は春本番。いつもなら就職に進学に、この四月は最も笑顔の多い月のはずなのに、青息吐息のニュースが続いています。平和台の皆様は、いかがお過ごしでしょうか！

日本は国民皆保険の国、国民健康保険、国民年金等各種制度が充実しています。しかし、その基本は何と云っても「雇用」が大前提です。働くところがあつてこそその皆保険制度なのです。その「雇用」が危機的状況です。昨年十月から今年六月に失職あるいは失職予定の非正社員は今、十九万人を超えています。

情熱と志を持つて！

不安な日々が続いていますが、先日、こんな言葉が雑誌に紹介されていました。花王元会長 常盤文克氏の

言葉、確かに今、我々が頼ってきた経済の「常識」は大きく揺れています。しかし、常識とは何でしょう。平時ならば「深く考えなくても、それほど問題がない」こと。常識が変わる時は、思考停止を止める「時でもありませぬ。これまで自明として疑わなかったことを、自分の頭で考え抜いてみる良い機会なのである。考える際のヒントは、まず「これまでの常識の対峙を見る」ことだと思えます。本当にそうか、疑ってみるのです。今、我が国の金融業界や行政からは、千四百兆円超と言われる個人金融資産の生かし方が出てきません。過去の常識の復活を祈って、不況よ、早く去れ、とひたすら耐えている。そんな印象を受けます。それでは新しい、成長の切り口は見えてきません。「今は耐えるしかない」といった、視野狭容が一番怖いのです。それは従来の、働くべき方向がはつきりしていた時についた癖かもしれないが、マネジメントを担う人がそこに落ち込んではいけません。常識を疑い、対峙を見ることで、これからの立つべき位置を見定め、情熱と志を持って組織を導いてほしい

のです。大変、心に残った言葉なのでご紹介しました。落ち込んではいけません。こんな時こそ、情熱と志を持って政治、市政に取り組んでいきたいと思っっている。今日この頃です。

平成二十一年二月 定例市議会終了！ 新年度予算が決定！

新年度予算案を決定する三月議会は二月二十六日(木)から三月十九日(木)まで、二十二日間、開催されました。今議会の一般質問は三月五日(木)から三月九日(木)まで行われ、十四名の議員が質問に立ちました。

新年度の予算審査は三月十六日(月)から三月十八日(水)まで三日間、特別委員会が設置され、印南は会派を代表して予算審査特別委員として審査に努めました。平成二十一年度の一般会計は三百九十九億二千万円、前年度当初と比べ、六億千万円増、一・九%の増額予算となりました。

予算の歳入は、社会的な景気悪化や団塊世代の退職者増などで、全体の約六割を占める市税が百八十一億七千万円で、前年度比三億

五千百万円の大幅減となり、例年になく厳しい編成となりました。歳入の不足分は市有地売却で約二億円、減債基金から約二億円、財政調整基金から約一億円をそれぞれ確保・繰り入れを行い、財源にあてました。歳出は、経常経費五億円の削減目標額を各部署に割り当て、聖域なき見直しに努めました。結果的には目標額五億円の削減は達成できませんでしたが、社会保障費などの「民生費」拡大を四億五千万円に抑えながら、総務費、土木費、衛生費等を軒並み減額しました。



ぜひご覧下さい!!!

印南が代表を務める「あびこ21」ホームページ
<http://abiko21.exblog.jp/>
我孫子市 公式ホームページ
<http://city.abiko.chiba.jp>

重点施策では、児童医療費助成事業として小学校一年生から三年生の通院分を新たに助成する為の予算二千七百万円を確保されました。私立保育園の施設整備の補助に約二億三千万円、(仮称)我孫子駅前インフォメーションセンター整備事業に約五千万円、景気対策として市商工会が発行する一億円分プレミアム付き商品券のため、10%のプレミアム分の一千万円と事務手数料五百万円を市が負担します。他の新規事業として、小中学校の校舎大規模改造、白樺文学館の運営、杉村楚人冠邸の保存と活用などが盛り込まれています。

予算審査の争点は、平成二十一年度に本格的な見直しを予定したいと市長が意気込む基本構想は、すべての計画の基となつている市の最上位法であり、安易な見直しに反対する意見が多く出されました。私も安易な改正には反対だと主張しました。

また、我孫子駅南東地区を平成二十一年度から平成二十五年度にかけて約三十二億八千万円を投じて行う、都市再生整備計画のシンボリックな事業、(仮称)我孫子駅前インフォメーションセンター整備について、センターの機能、役割、運営方法について未だ明確な方針が示されないなか、いわゆる中身、コンテンツが全くない段階で建物のみ

を先行して建設しようとする市の姿勢に疑問の声が多く上がりました。市長は、「早急に整備方針を明確にしていきたい。この事業の着手は市議会の所管常任委員会である環境生活常任委員会に諮り、了解を得ながら、事業を進めていく形にしていきたい。」と答弁、そのため、予算はこのまま認めて欲しい旨、強く訴えました。

また、聖域なき見直しによって、削減された事業は敬老祝い金や福祉手当、障害者の助成金の削減など、簡単に削減しやすいものだけを削減し、その他の補助金、負担金などは十分な削減ができませんでした。歳入確保の見積もりの甘さや予算編成の方法にも疑問の声が上がりました。その結果、新年度予算は本会議において賛成十七、反対十の多数可決で成立しました。

「子供泣かすな、来た道だ。年寄り笑うな、往く道だ。」

我孫子市の六十五歳以上の高齢化率は、すでに二十一%を超えています。四年後には確実に四人に一人は高齢者となります。千葉県内に五十六市町村が存在しますが、その中では三十一番目に位置しています。決して県内では高齢化率が高い方ではありませんが、東葛飾地域(六市) 柏、流山、野田、鎌ヶ谷、我

孫子)では一番の高齢化率となつていきます。

市内百十五町丁では、新木野二丁目が高齢化率四十%でトップ、二位には湖北台六丁目、三十九%と高齢化率三十%を超える町内が二十五町丁存在しています。急速に高齢化が進んでいます。

そんな中、新年度予算では、敬老祝い金や結婚五十周年記念祝賀会など高齢者をターゲットにした事業の廃止、見直しが行われ、全体では「削減し易い、事業を削る」そんな傾向が顕著になった予算編成となりました。敬老の精神、長生きを敬う、日本的な良さが無くなつていくような悲しい気持ちになりました。

我孫子トピックス

我孫子市議会、定数二十四人に削減!

三月議会の最終日、我孫子市議会は議員定数を現行の二十八人から二十四人に削減する条例案を賛成多数で可決しました。平成二十三年十一月に任期満了となる市議選から適用される。一昨年、平成十九年に行われた選挙は定数三十人を二十八人と二名減らし実施。その後も議会改革について話し合いを行っていました。

定額給付金事業

ところで政府の給付金はいつもらえるの？

我孫子市は二月十六日、定額給付金給付事業本部を設立、併せて専任職員三人の「定額給付金推進室」を設置した。国の第二次補正予算関連法が三月四日成立。市では給付総額を約二十億四千万円と試算。四月中に通知し、五月中に給付できる体制でスタートしました。

併せて、定額給付金の活用策として、額面より安く購入できるプレミアム付き商品券の発行を我孫子市も計画しています。我孫子市は商工会と連携して10%のプレミアム商品券を一億円分発行することを決定しました。

子育て応援特別手当の支給

現下の厳しい経済情勢において、多子世帯の子育て負担に対する配慮として、第二子以降の児童について、一人当たり三・六万円を支給する国の事業です。支給対象の子は、平成二十年度において小学校就学前三年間に属する子。すなわち、平成十四年四月二日から平成十七年四月



一日までの間に生まれ(平成二十年三月末において三歳から五歳の子)であつて、第二子以降である児童が対象となります。支給は申請手続きが必要となります。我孫子市は約二千百人が対象となっています。

市独自の緊急経済・雇用対策について

〔三月議会公会派代表質問〕

深刻化する経済情勢、急激な悪化を受けて、近隣自治体を初め、多くの自治体で、緊急経済・雇用対策を実施しています。流山市では、一月十三日、総額三千五百万円規模の緊急経済・雇用対策として、市内公共施設の修繕など小規模事業六十三件を市内企業者に優先的に発注する経済対策と、昨年四月以降、事業主の都合で解雇や派遣を解除された市民、十人程度を市の臨時職員として採用する雇用対策をセットで行なうなどの緊急施策を発表しました。

その他、柏市、船橋市、袖ヶ浦市など何処の市町村も当市同様、大変、厳しい財政状況ではあります。特に受注件数、仕事量が激減している建設業など市内企業の経営環境安定化を図るための新規事業を積極的に予算化するなど鋭意、地元の不況対策に取り組んでいます。

我孫子市は今議会の市政方針

で述べられているように、「市内中小企業への資金融資枠の拡大や我孫子市商工会のプレミアム商品券発行への助成」などを施策として挙げていますが、この助成事業も商工会に補助金を交付するだけの、効果が不十分な内容であり、現在の百年に一度と言われる大不況に対して、市の対応策の遅れや甘さ、危機意識に欠けた行政になつていようにも感じています。

もつと市民の声、地元の動きを敏感に感じることが必要だと思つています。そして、KYの自治体(空気を読めない)になつてはいけな思つています。市民のための市役所でないならばならないのです。我孫子市も公共工事の前倒し発注や新規事業を積極的に推進し、地元中小業者に発注される工夫も含めた景気刺激策を早急に実施する必要があります。

また、雇用対策をしていると言ふ単なる市役所のポーズではなく、職業訓練などを通じて雇用のミスマッチ解消につながる仕組みの提供等、我孫子市として独自の緊急経済・雇用対策に積極的に取り組むよう促しました。

宏はこう考える

千葉県知事選、終わる！
(寂然としない知事選)

二〇〇九年は選挙の年、必ずやってくる衆議院解散総選挙の前、今後の政権交代を占う千葉県知事選挙は元衆議員で俳優の森田健作氏(五十九歳)が、民主党などが推薦、支援する第三セクター鉄道会社の前社長、吉田平氏(四十九歳)ら四氏を破つて初当選しました。

投票率は四十五・五六%(前回四十三・二八%)でした。森田氏は自民党県議らの支援を受けました。政治不信が強まる中で政党色を出さずに、知名度を生かした選挙戦を展開し、終始リードする形で、四年前の雪辱を果たしました。

選挙戦では森田氏は「無所属」を強調し、支援する自民党県議は裏方に回り、自民党の国会議員などの応援弁士を一切呼ばずに、政策面では成田 羽田のリアモーターカーの開通、郷土愛の育成や道徳教育の推進などを公約として、残念ながら具体的な政策、見直しなどは一切触れない、イメージ選挙を貫いた選挙戦でした。

聞くところによると、選挙を指導した選挙プランナーに、石原新太郎・東京都知事三選、丸山珠代・参議院議員当選に貢献

した、あの三浦博史が参謀役として就いていたそうです。さすがにうまい選挙戦を展開していました。

ただ、残念なのは、「完全無所属」をアピールして当選した森田氏、当選後に発覚した自民党東京都衆議院選挙区第二支部(東京都中央区)の支部長だったこと、これは、公職選挙法(虚偽事項の公表罪)第二百三十五条に抵触する恐れがあるや否やそして、その第二支部から、森田氏が代表を務める資金管理団体「森田健作政経懇話会」に事務所家賃分を除く、約一億五千万円全額が寄付されていたことなどが新聞等報道で明らかになりました。

資金管理団体の使途について、森田氏は記者団の質問に「知事選には使っていない。知事選に無所属で出馬を決意する前に、自民党候補の応援などのために使った。」と釈明をしていました。知事選に使っていないことをどのように証明するのでしょうか？また、記者会見で明らかのように、「近く支部を解散したい」と発言、つまりは、千葉県知事選が行われた日にはまだ支部は解散しておらず、森田氏は支部長の身であったということが明らかになりました。

どうも、今回の森田氏の行動は釈然としない。「俺は男だ！」昔の青春ドラマのイメージとは、

宏と語る小さな小さな ティーパーティーのご案内

3月議会報告と「これで良いのか、我孫子市は」の視点で、市政諸問題を取り上げながら、意見交換・和やかな小さな小さなティーパーティーを開催したいと思っております。
どうぞ、みなさま奮ってのご参加をお待ちしております。

日時:平成21年4月18日(土)
午後6時~7時半位

場所:布佐南近隣センター会議室
その他:事前予約等不要・参加費無料です。
(どうぞお気軽にご参加ください!!!)



かけ離れた千葉県知事選挙戦となつてしまいました。「政治と金」今後、新知事となつた森田氏に何事も起こらねば良いのですが、「金権千葉」の復活だけは、けしてはいけなないことなのだ、心配の種は尽きません。

平和台雑感

駅頭で市政報告をしていると一見見て、新入社員はすぐにかかると。二年目、三年目の社会人になりスーツの着こなし、歩き方、初々しい新鮮さが直に伝わってくる。頑張れ新入社員。入社早々に自宅待機や関連会社への転籍を求められている新人もいる。まして、入社できずに未だ職探しに奮闘する者もいる。今は正社員にも雇用の危機が迫っている。そんな中での新社会人スタート。苦しい時があればこそ、振り返って笑える日もある。そんな日が一日も早く来るようにと祈る。

先日、イチゴの会(我孫子市民学級十五期生のOB会)の仲間と上野鈴木本演芸場に出かけた。いつ平改め二代目、林家三平襲名披露興行が目的だ。幹事の手配よろしく、連日満員の会場、確保してくれた席は前から四列目の中央付近、ありがたい。入場料は一人二千八百円、鈴木特製の弁当が千二百円、計四千円で午後十二時半から四時半までの約四時間があつたという間に過ぎて行つた。熱気の中、三平は終始目頭を熱くし、馬風こと落語協会会長が「父を超えられるよう、末永くごひいきを」の口上に思わず涙ぐみ、父、三平の思い出を語つた後、トリの高座

へ、初代を思わせるギャグの連続で場内を大いに沸かしてくれた。初めて経験した寄席、その雰囲気魅了された。今後、病みつきになりそうで怖い。
「ある明治人の記録」(会津人柴五郎の遺書)という本を読んだ。柴は会津藩士の子、戊辰戦争で会津城が官軍の攻撃を受けて落城した際にはわずか十歳の母や祖母、姉たちは自刃し、生き残つた父や兄達と半ば流刑地のような津軽の地で餓死線上の日々を過ごす。賊軍と呼ばれた会津藩、その子弟たち、敗者の目から明治維新を見ていることがこの本の魅力でもある。柴が何度も屈辱を味あわされながらもプライドを保ち成長、それを支える大人達の姿勢に涙が幾度となく流れてくる。柴は陸軍大將まで上り詰めた人なのだが、この本では、柴の幼少期から士官学校までが「遺書」としてまとめられてる。「歴史とは何か」を考えさせられる本でもある。
満開の桜に迎えられる、四月八日布佐中学校の入学式が挙行された。今年の新入生は八十九名、三クラス編成となつた。校長先生は、式辞で「中学校生活は大人になるための準備の期間、自分で自分を成長させる為の大切な所でもある。中学校時代は、何でも挑戦し、自分の得意とする

為に必要なことは、小さいことを毎日、こつこつと行うこと、そして、何事も本気で取り組んでほしい。本気で取り組めば必ずや道は開けてくる」と挨拶。その言葉に改めて、新入生代表から、「中学校時代、時間を大切に何事にも一生懸命に取り組んでいく」と力強い言葉。これからの日本を創り、担っていくのは皆さんだ。どうか、布佐中の良き伝統を大切に、たくましく健やかに育ってほしいと心より祈念した入学式だった。

宏

印南 宏後援会

〒270-1198 我孫子市日の出 1131
(日本電気労働組合我孫子支部内)
Tel 7184-2860

印南 宏 自宅

布佐平和台7-1-18
Tel 7189-1598
e-mail innami@mqd.biglobe.ne.jp
ブログ http://hiroshi4649.at.webry.info/